

## 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 彦根市準備委員会設立趣意書

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的として開催されます。

昭和56年(1981年)に本県で開催された第36回「びわこ国体」においては、本市は夏季大会の開・閉会式をはじめ、水泳、テニス、ハンドボール、高校野球を運営し成功に導きました。その貴重な経験と教訓はその後の本市スポーツの普及・促進や市勢発展へとつながっています。

全国障害者スポーツ大会は、障害のある人が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加の推進に寄与することを目的としており、本市では初めての開催となります。

今後、本市もホストタウンとして取り組む「東京2020オリンピック・パラリンピック」、本市が陸上競技(10kmロードレース)の会場となる「ワールドマスターズゲームズ2021関西」など世界的なスポーツイベントが相次いで開催され、市民のスポーツへの関心はいよいよ高まってまいります。

このような中、令和6年(2024年)に第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会が本県、そして本市で開催されることは、さらなるスポーツの普及・促進と市勢の発展、また、みんながともに支えあう社会の実現につながるものです。また本市の恵まれた歴史・文化・自然等の地域資源を全国にアピールする絶好の機会でもあります。

両大会開催に向けての市民一体となった取り組みは、市全体の連帯感を高め、本市が目指す「風格と魅力ある都市の創造」に向けて極めて有意義なものと確信しております。

このような意義ある両大会を成功に導くために、市民・関係団体・行政からなる「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会彦根市準備委員会」を設立し、彦根市の総力を結集して所期の目的を達成しようとするものであります。

令和元年(2019年)11月28日

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会  
彦根市準備委員会設立発起人

彦根市長	大久保 貴
彦根市議会議長	馬場 和子
彦根市副市長	山田 静男
彦根市教育長	西嶋 良年
彦根市病院事業管理者	金子 隆昭
一般社団法人彦根市スポーツ協会会長	小田柿幸男
彦根市身体障害者更生会会長	岸田 清次